

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

会社名	株式会社エーゼット
所在地	大阪市鶴見区茨田大宮 1-7-59
担当者	営業部
電話番号	06-6915-3501
FAX 番号	06-6915-1202
緊急連絡先	住所に同じ
作成日	2011/08/05
改訂日	2018/03/08

製品名 : AZ 極圧グリーススプレー

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性、引火性エアゾール

区分 1

健康に対する有害性

皮膚腐食性、刺激性

区分 2

生殖毒性

区分 1B

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

区分 2(神経、呼吸器、肝臓、腎臓)

区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

区分 2(神経、呼吸器、肝臓、精巣)

吸引性呼吸器有害性

区分 1

環境に対する有害性

水生環境有害性（急性）

区分 1

水生環境有害性（慢性）

区分 1

※上記の項目で「区分外」、「分類できない」、「分類対象外」のいずれかに該当するものは記載省略

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H222: 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール

H229: 高圧容器

H315: 皮膚刺激

H360: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

H371: 臓器の障害のおそれ（神経、呼吸器、肝臓、腎臓）

H336: 眠気又はめまいのおそれ

H373: 長期または反復ばく露による臓器の障害のおそれ（神経、呼吸器、肝臓、精巣）

H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命の危険のおそれ

H400: 水生生物に非常に強い毒性

H410: 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

応急措置 p.2 に記載

取り扱い p.2 に記載

保管 p.2 に記載
廃棄 p.3 に記載

3. 組成及び成分情報
単一製品・混合物の区別 混合物
成分及び含有量 石油系溶剤 (20～30%)、鉱油 (20～30%)、ウレア増ちょう剤、添加剤、噴射剤 (LPG)
官報公示整理番号 企業秘密のため非公表
CAS No. 企業秘密のため非公表
国連番号及び国連分類 1950 クラス 2.1
-
4. 応急措置
吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要なら医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合： 口をすすぐ。無理に吐かせない。医師の手当を受ける。
眼に入った場合： 水でよく洗う。コンタクトレンズを装着している場合固着してなければ外す。十分、洗浄後、医師の手当を受ける。
皮膚にかかった場合： 水と石けんで十分、洗う。衣類が濡れた場合、直ちに着替える。濡れた衣類を再着用する場合は洗濯する。
腫れ、痛みが生じる場合、医師の手当てを受ける。
-
5. 火災時の措置
消火方法： 速やかに容器を安全な場所に移す。
消火に棒状の水を使用してはならない。
初期の消火には下記の消火剤を用いる。
消火剤： 霧状強化剤、泡粉末、炭酸ガス
-
6. 漏出時の措置
保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用する。
風上から作業する。
砂、おがくず、ウエス、新聞紙等に吸い込ませて、回収する。
土壌、河川、湖沼、海域、下水道等に流入しないように注意する。
浸透性及び揮発性があるので、付近の着火源になるものは速やかに取り除く。
-
7. 取扱い及び保管上の注意
取り扱い： 関係法令の定めるところによるほか、以下の点に注意する。
製品の使用中、飲食および喫煙しない。
熱、火花、火炎、高温のものから遠ざける。
必要に応じて呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用する。
屋外または通気性が良い場所で使用する。
常温で取り扱い、その際、蒸気の吸入、原液との接触に注意する。
使用後は手洗いを十分する。
保管： 屋内の直射日光が当たらない涼しい場所で保管する。
ふたを必ず密閉する
ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。
-
8. ばく露防止及び保護措置
- | | 管理濃度 | 日本産業衛生学会 | ACGIH (TLV-TWA) |
|-----------|--|--------------------|--------------------|
| ミネラルスピリット | 設定されていない | 設定されていない | 100ppm |
| 鉱油 | 設定されていない | 3mg/m ³ | 5mg/m ³ |
| 設備対策 | 排気装置を設けるか通気性を良くする。
身体洗浄、うがいができる洗浄設備を設置する。 | | |
| 呼吸用保護具 | 必要であれば防毒マスクを着用する。 | | |

外観等	茶褐色液体
揮発性	あり
蒸気圧	データなし
密度	0.84g/cm ³
溶解度	水に不溶
引火点	21℃以上
爆発限界	データなし

可燃性	あり 蒸気は低所に滞留し、地表面に添って移動し、着火源があると引火 爆発を起こす恐れがある。
安定性	安定
酸化性	なし
反応性	なし

急性毒性	ミネラルスピリット	LD ₅₀ >15000mg/kg(ラット)
	鉱油：経口	LD ₅₀ 5000mg/kg 以上(ラット)
刺激性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。	
慢性毒性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。	
感作性	有用なデータなし。	
変異原性	有用なデータなし。	
催奇形性	有用なデータなし。	

分解性、蓄積性、魚毒性：混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。

廃棄物処理法に従って自ら処理するか、産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合、そこに委託して処理する。

輸送時には「取扱いおよび保管上の注意」の項に記載した内容に留意するほか、容器に漏洩、破損のないことを確かめ、荷崩れを起こさないよう確実に積み込む。さらに関連法令に従った措置も講じる。

消防法	第4類第2石油類 危険等級Ⅲ
水質汚濁防止法	油分排出規制（n-ヘキサン抽出分として）
海洋汚染防止法	油分排出規制（原則禁止）
廃棄物の処理および清掃に関する法律	産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）
国連番号及び国連分類	1950 クラス 2.1
労働安全衛生法	通知対象物：ミネラルスピリット、 キシレン、鉱油 ブタン（噴射剤） 表示対象物：ミネラルスピリット 鉱油 ブタン（噴射剤）
有機溶剤中毒予防規則	第3種：ミネラルスピリット
PRTR法	1.2.4トリフルオロベンゼン(2.1%)

16. その他

参考文献

1. 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS)改訂 6 版 (2015)
2. 日本規格協会 JIS Z 7253:2012、JIS Z 7252:2014
3. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(nite) [GHS 関連情報]
4. 各原料の SDS

注意事項

この安全データシート(SDS)は入手可能なデータをもとに通常取り扱いを想定して作成したものです。

SDS は安全の保証を約束するものではありません。

取扱者は状況に応じて使用してください。

SDS の内容は新たな知見により予告なく変更することがあります。
